

☆一番星☆

4年
冬休み号

平成26年ももうすぐおしまい。そして、今日は2学期の終業式です。ご家庭でも成長したところやがんばったところをしっかりとほめてあげてください。

さて、冬休みは短い休みですが、有意義に過ごせるようお子さんとゆっくり話し合ってみてください。冬休みは年の終わりと始まりを体験する大切な機会です。家庭の仕事や地域の活動に積極的に参加できるようにしましょう。新年を迎えるにあたって、ご家族で新しい目当てを考えるのも良いのではないのでしょうか。休み中、健康に留意し、楽しい年末年始をお過ごしください。では、よいお年を。

冬休みの宿題について

☆ウィンター ☆毎日日記(俳句) ☆冬休み新聞

☆生き物冬ごし調べ (理科ノートに)
(生き物は、どうやって寒い冬をすごしているかな)

☆自主学ノート5ページ以上 ☆書き初め練習 1枚提出

☆わたしたちの道徳P48P49をうめる
P50~P52を読んで、P53をうめる

☆進んで、お手伝い、なわとび、読書をしよう。



冬休みの生活

「冬休みを楽しく」(先日配布)をしっかりと読み、ルールをきちんと守り、楽しい休みにしましょう。

特に夕暮れ時の交通安全にはくれぐれもご注意ください。

3学期始業式(1月8日)の持ち物

☆登校時間(いつも通り)

☆持ち物

- ・あゆみ
- ・筆記用具
- ・上靴
- ・名札
- ・体操服
- ・宿題
- ・図書の本

☆競書会の練習をがんばろう☆

3学期始まって、間もなく清書を行います。提出は1枚ですが、冬休みにしっかり練習しておいてほしいと思います。

☆集中力して ☆ねばり強く ☆お手本をしっかり見て
考えながら練習することが大切です。

北口さんとの交流

12月3日(水)に、総合「目の不自由な人の気持ちに近づこう」の学習で、全盲の北口さんをお招きし、お話をきかせていただきました。北口さんは、ふだんの生活のことや、自分自身のこと、ご家族のこと、いろんなことをお話してくれました。また、北口さんたちの生活に便利な道具を見せてくれたりもしました。

子どもたちも、初めとても緊張した様子でしたが、話を聞き、また質問もしていく中で、緊張もとけ、北口さんとの距離が縮まっているように感じました。

交流後の感想には、「楽しかった」や、「目の不自由な人を見かけたら、声をかけたい」といったものが多く、貴重な出会いになったように思います。子どもたちには、支え合い、助け合う社会の担い手になることを期待したいですね。

